

学校だより

No.2017-9

おっかわ

平成30年1月9日

半田市立乙川小学校

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願いいたします
平成三十年正月



【戌年トリビア】

○平成30年の干支は「戌戌(つちのえいぬ)」。

○戌(つちのえ)は「草木が繁盛して盛大になること」、戌(いぬ)は「草木が枯死すること」で、今年は、枯れるという側面と生い茂るという側面があり、変化するのにいい年だそうです。

○戌年生まれの主な有名人

1994年生まれ：大谷翔平、羽生結弦、渡辺麻友、広瀬アリス…など

1982年生まれ：吉田沙保里、相葉雅紀、倉木麻衣、深田恭子…など

1970年生まれ：いとうあさこ、岡村隆史、上田晋也、宮迫博之…など

ごんごん駅伝大会

12月22日の午後、半田運動公園陸上競技場において小学校区対抗の第6回ごんごん駅伝大会が開催されました。快晴、微風の絶好のコンディションのもと、市内13の小学校区から集まった小学校4年生から中学校2年生までの精鋭が、ロードレースと駅伝で健脚を競いました。



今年度の乙川小は、ロードレース男子で1位、同女子で2位という素晴らしい成績を残し、駅伝でも7位と健闘しました。何よりも、本番までの2か月にわたる練習に取り組む児童の姿は素晴らしいものでした。その努力は必ずどこかで生きてくると信じています。

児童下校時の交通安全にご協力を！

児童の下校時刻近くになると、学校の正門、東門近辺に駐車している車をしばしば見かけます。通行する車にとって障害になっているようすし、何より、駐車車両によって道路の見通しが悪くなり、下校途中の児童の安全が脅かされることが懸念されます。致し方ない事情によりお車でのお迎えをせざるを得ない場合もあるかと思いますが、学校周辺の道路上に車を停めてお子様を待つことがないよう、切にお願い申し上げます。

中日新聞の日曜日県内版に「ほろほろ通信」というコラムが連載されています。そのコラムを書いている志賀内泰弘さんという方が運営する「いい話の広場」というウェブサイト(<http://www.giveandgive.com/>)に、心温まるいい話がたくさん載っています。そのうちの一つを紹介します。

＜＜「雪の坂道のワッショイ」 ほっこり和みのいい話＞＞

公益財団法人モラロジー研究所は、倫理道德の研究と社会教育を推進する研究教育団体です。関係法人として、学校法人廣池学園という幼稚園、中学校、高等学校、大学も経営しています。

そのモラロジー研究所が発行する月刊紙「れいろう」に、以前「ギブ アンド ギブ」をテーマにしたエッセイを寄稿させていただいたご縁で、毎月本誌を送っていただいています。平成26年5月号の「心に残る話」のコーナーにフリージャーナリスの後藤寿一さんが、こんな話を書かれていました。

2月の中旬のこと。八王子のファミリーレストランで打ち合わせを終えて外に出ると、雪がかなり降り積もっていたそうです。

路面はビチャビチャで、駅まで歩くのに足を滑らせそうになりました。ふと左を見ると、坂道を上ろうとする軽自動車が、上りきれずに後輪を空転させて往生していました。その後ろには、何台もの車が数珠つなぎになっています。

その時でした。近くの八百屋さんのご主人らしき人が、段ボールを両脇に抱えて車に近づき、後輪の下に敷いたのです。そして軽自動車の後ろに回って押ししました。坂の上に上がった車から、茶髪の二人のお兄さんが出てきました。彼らは、今、上ってきた坂道を走って下り、後続の車の後ろに回り込みました。そして、ワッショイ、ワッショイと掛け声を掛けながら押し始めたのです。おかげで、後続の車も、無事に坂の上に上ることができました。

話はここで終わりません。その後続の車から出て来た中年の男性は、押してくれた茶髪のお兄さんたちに、「君たちは先を急ぎなさい」とばかりに手で払う仕草をすると、自分は坂を下っていきました。そして、またまた、後続の車に後ろに回って、同じように押し上げたのです。そしてまた、坂の上に車が上がると、車の中から出て来た一人の若者が、「おじさんは先を急ぎな」というような手のしぐさをし、同じように坂の下まで降りて車を押し上げたのです。何台かの車が上ったことで、坂道は滑りにくくなり、後続の車は自力で上がれるようになったのです。

後藤さんは、これを「ワッショイの連鎖」と名付けました。まるで、ドラマのようですね。(中略)このようなことが、全国どこでも日常茶飯事になりますように。